



住民主体の『通いの場』のご紹介 ～高齢者の居場所づくり～

●問い合わせ 町地域包括支援センター ☎096(292)0770

・転倒リスクの減少
・体操などでの筋力維持による、
・人との交流による、認知症リスクの減少
・「通いの場」の介護予防効果として、次のことが期待できます。

『通いの場』の効果



【いきいき百歳体操(熊本版)】

『通いの場』とは？
住民の皆さんが運営主体となり、体操や趣味活動などの介護予防に取り組み集まりのことで、現在町内に21カ所あります。
新型コロナウイルス感染症拡大に伴い、外出や運動の機会、人との交流が減っていませんか。「自分の地区や団体で通いの場を作りたい」と考えている人は、まずは町地域包括支援センターにご相談ください。

桜丘区の通いの場(通称「桜丘つどいのば」)は、毎週火曜日の午前10時～11時頃まで、桜丘団地集会所さくら館で開催しており、健康体操や音楽・スポーツレクリエーションなど楽しい活動を行っています。地域の情報が集まり、さまざまな困りごとを自分たちで解決していけるような、地域づくりの拠点を目指しています。

町の『通いの場』を紹介 ～桜丘区～



町内の実施団体はこちら▼

・近所づつでの見守りや助け合い
大津町の「通いの場」でも、週1回参加している人は、該当地区の平均よりも軽度認知障害のリスクが低い傾向にあります。
また、「通いの場」や自宅などで定期的に運動を行い、筋力がアップしたり体脂肪率が下がったりした参加者もいます。
町内の実施団体については、町ホームページまたは左の二次元コードからご確認ください。

桜丘つどいのばの活動の様子



クリスマスコンサート



桜丘つどいのばで作成した「通いの場」。つどいのばで行った体力測定の結果を記録し、自分のからだ作りの目安にしています。



スポーツレクリエーション

参加者の声
「みんなで寄れることが楽しい。顔を見るだけでもいいので、続けていきたい。」「家の中にばかりいるとあまり動かないけど、ここに來ることで手足の動きが良くなったと思う。」



桜丘区 千田哲夫区長

しゃべって遊んで、支えあう場所
桜丘区の千田区長に、つどいのばへの想いを伺いました。
つどいのばで一番大事にしていることは「遊び」です。「遊び」は自然におしゃべりや笑いが起きるし、自然に色んな人とふれあいが、支えあいが生まれる。桜丘つどいのばでは、「自分たちで」試行錯誤しながらやりたいことを考え、「遊び」を通じた楽しい場づくりに取り組んでいます。楽しく

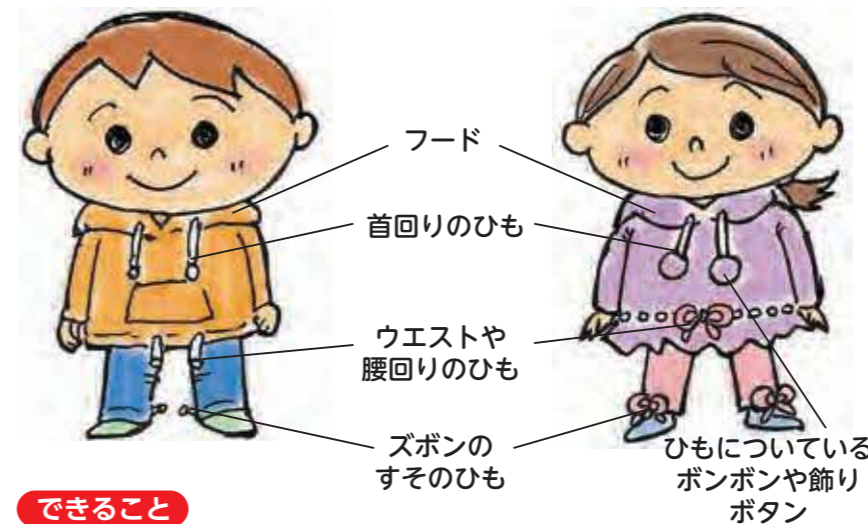
なかつたら人は来ませんし、主体的でないが集まりも続きません。人が集まることで地域の情報が行き交うので、そこからまた助けあいや支えあいが生まれていきます。住民同士の支えあいは、地域の本来の姿ですよね。ここは「地域づくりの一つのカタチ」です。

「カワイイ！」だけで大丈夫？ ～子ども服は、安全性を考えて選ぼう～

子ども服に関して、思いがけない子どもの事故が起きています。選ぶ際には、デザイン性や快適性のほかに、安全性も考えましょう。安全に「絶対」はありませんが、より安全な服を選びましょう。

子ども服の要注意ポイント

例えば、こんな部分が家具やドア、遊具などに引っかかると、転倒や首締めなどの事故に…。



できること

- ・手持ちの服は、ひもを抜くか切って短くするなど工夫する。
- ・子どもが激しく動くことが予想される場合や大人の見守りがない場合などは、あらかじめひもやフードなど引っかかる可能性のある服を避ける。

※(参考) 政府広報オンライン:「カワイイ！」だけで大丈夫?子ども服は、安全性を考えて選びましょう



子育てイベント
カレンダーで
最新情報を
ゲットしよう!



子育てカフェ(月1回、無料・要予約)

保健師や児童発達の専門家などが対応します。お気軽に!

日時 1月26日(休)
10:00～12:00

場所 まちづくり交流センター

協力 NPO 法人
ペアレントネットワーク

※駐車場は役場もご利用ください。
※状況により、電話相談または中止する場合があります。

役場子育て支援課 子育て支援係
☎096(293)5981

学校での取り組みなどをご紹介 ●問い合わせ 役場学校教育課 学務係 ☎096(293)3349

「ICT教育日本一」実現に向けて

令和4年「くまもとGIGAスクールプロジェクト」(※1)の一環として、11月30日に大津中学校で公開授業が行われました。当日は町内外から多くの先生が参加し、生徒たちもICTを効果的に活用しながら主体的に取り組んでいました。

町内全ての学校が日本教育工学協会より学校情報化優良校の認定を受けており、町全体としても「2022年学校情報化先進地域」に認定されました。

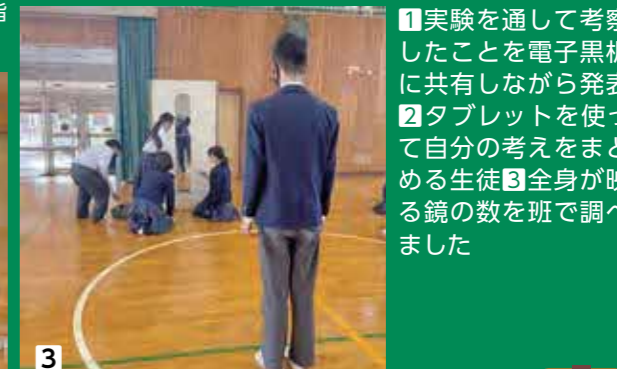
※1 「ICT教育日本一」の実現に向けて、GIGAスクール構想により整備されたICT機器の利活用について、全ての教員のICT活用指導力の向上を図る熊本県教育委員会のプロジェクト



1



2



3

1 実験を通して考察したことを電子黒板に共有しながら発表
2 タブレットを使って自分の考えをまとめる生徒
3 全身が映る鏡の数を班で調べました